

ご案内
—愛教婦人会—
「お正月飾りを作る会」
今年も開催。

毎年恒例となっております。お正月飾りを作る会を左記の通り開催いたします。ご参加お待ちしております。

日 時 十二月二十七日(日) 午前十時～十二時

場 所 大阪本部 二の間

会 費 一、五〇〇円

定 員 二十五名

※教会事務所前の申込み封筒に、お名前ご記入の上、会費を入れて、事務所へお申込み下さい。

ことに限らず、心の美しさが大切なのです。今朝、三月に亡くなった宮城まり子さんという方の報道を目にしました。宮城さんは元々歌手として活躍され、昭和四十二年、日本初の肢体不自由児のための療護施設「ねむの木学園」を設立され、福祉事業家として活躍されました。宮城さんは「やさしくね。やさしくね。やさしいこと。はつよいのよ。」という言葉葉を常々口にされていたそ

うです。我々人間の身体は、自然からの借り物です。そしてそれぞれに宿る心、魂は、神の分御霊です。つまり、本来我々日本人は、つよくて、やさしい心をどなたもが持ち得ているということなのです。とげとげしい言葉をお口にすると、自分はすっきりするかも知れませんが、周りの人を傷つけてしまいがちです。ややもすると、巡りめぐって自分に返ってくるこ

ともあるかも知れません。お互いに気を付けては居りますが、他人からそのような言葉を向けられることもありますよね。その様子とき、心を日々信仰で磨いているというところが大きな強みとなります。その様な場面には居合わ

せたくないですが、日々生活してまいりますと、ある日突然やって来るものです。しかし、そのような発言は「徳を落としてしまう」と認識し、同じ土壌に上がらない事が大切です。決して腹を立てることなく、自分は気を付けようとし

落ち着いて考えなければなりません。どの様な逆境の時にも、強くしなやかに対応できる、柳のような心を神様に授けて頂くのも、信仰の大切な点です。それでも心が落ち着かな

その様なときには、教会へ足を運んで、心静かに参拝し、自分の言葉で神様、ご祖先に思いを伝えて下さい。必ずや、その嫌な気持ちをお聞き下さり、吸い取って下さいます。そういった「心の鍛練」が、信仰の基

教会行事

十二月一日(火)	月並祭	午後七時
五日(土)	養老教会修行日	午後七時
六日(日)	御本宮月並祭	午前九時
八日(火)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(水)	修 行 日	午前十一時、午後七時
十二日(土)	教 祖 祭	午後七時
十三日(日)	西播教会修行日	午後七時
十五日(火)	年末すすはらい	午前九時
二一日(月)	米子地区敬和会	午後七時
二八日(月)	冬至祭—お水取神事	午後六時四十分
三十日(水)	秘法秘伝の御神水を取らせていただく。年に唯一のこの日、そして来年の運勢を御神示して頂く大切なお祭りです。	午後七時

年始 (令和三年)

一月一日(祝)	元 旦 祭	午前十一時
三日(日)	御本宮初月並祭	午前九時
八日(金)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(土)	支部新春来参式	午前十一時
十一日(祝)	お鏡開き式	午前十時
十五日(金)	お鏡餅をお下げし、健康保持を祈願し「おぜんざい」にして戴きます。	午後七時
十七日(日)	初月並祭	午後七時

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動



発行所 大阪本部
 大阪府西淀川区北堀江3丁目10番
 電話 06(6531)6722
 FAX 06(6531)6152
 (非売品)

12月号

**自家成立の
 根源は和にあり
 秩序の根源は
 神祖崇敬より**

ご教話 古代からの生活習慣のお陰

月並祭 (11月1日)

十一月になりました、今年も残す所二ヶ月となりました。朝晩冷え込んで参りますので、風邪などひかれませぬ様ご自愛下さい。扱、今年世界中で話題となったのは、何と云っても新型コロナウイルスです。フランスでは感染者が再び増加しているという報道も目にします。その原因の一つに、お風呂にあまり入らないという習慣があるそうなのです。

大きな要因の一つと見られているからです。更には、家に土足で上がらない、そして先程申した様に水が豊富にあるお陰で洗濯ができ、こまめに着替えをする。そういった習慣も、日本で感染者が爆発的に広がらない理由になっていると云われております。テレビ出演者でも有名な歴史学者の磯田道史氏は、次の様に述べておられます。

一方、日本は水に恵まれた国で、お風呂に入る習慣があるというのが、非常に

お正月に、皆様の誠心をお鏡餅にして、御神前に供進いたします。

この様な、日本に古来、根付いている文化。習慣が多くの日本国民を守っているということなのです。

私を祀りなさい、という神託を受けられ、教えの随に大神神社にお祀りになりました。

**新春を寿ぐ
 お鏡料
 受付**

お正月に、皆様の誠心をお鏡餅にして、御神前に供進いたします。

この様な、日本に古来、根付いている文化。習慣が多くの日本国民を守っているということなのです。

私を祀りなさい、という神託を受けられ、教えの随に大神神社にお祀りになりました。

私を祀りなさい、という神託を受けられ、教えの随に大神神社にお祀りになりました。

私を祀りなさい、という神託を受けられ、教えの随に大神神社にお祀りになりました。

秋晴れに笑顔映え!



(三時の部) (御神前で記念写真) (正午の部)

秋晴れの十一月十五日。大神様、御教祖様、御祖先様のご祝福のもと、七五三詣が執り行われました。午前九時、午後三時、午後五時、午後七時の四回に分かれ、八名の可愛い着物姿のお子様方に、ご両親、おじいさま、おばあさま、ご親戚の方々も、心晴れ晴れと参列です。

西播教会 菊小屋に直会も例年の如く 秋之例大祭 賑々しく執行



西播教会長様

大祭準備が整い、ご奉仕の皆様が帰られた前日。ご本殿では教会長と緊張感漂う私と、明日、祭司として初奉仕の山本一成君と、心配そうな母親と祖父が見ている中、修礼という練習をしました。教会長は気楽に「大丈夫。」と言いますが・・・

から続く習慣なのです。又、「日本書紀」に語られている崇神天皇の伝承は、第十代崇神天皇の御代にまで遡る作法なのです。その作法が転じて、食事前には手を洗うという習慣が生まれたと云われており「手洗い」は遙か古代から続く習慣なのです。津社・国都社を全国に配置されたそうである。読んで字の如く天津社は、天津神をお祀りするお社。国都社は、国都神をお祀りするお社です。併せて、必要な土地や領園、又地域を治め、神社を管理する人員を配置し、同時に「手水舎」というものを設けられたと伝えられております。それ程、太古の昔より日本国家にとって祭祀は必要不可欠で、且つ公的なものであったということがうかがえます。



奉納神楽「宮司舞」 奉納神楽「宮司舞」 奉納神楽「宮司舞」

何もう考えられない状態。無？で舞わさせて頂きました。顔は涼しげに見えたかも知れませんが、汗びっしょりでした。定位置の西の間に戻り、ご教祖様、御祖先様に感謝を申し上げ、それぞれ玉串を奉奠され祭典は無事に終了しました。教会長の話の中でも紹介されましたが、初めて舞う舞、初めて奉仕の祭典と、終わってみれば、出来ることを一生懸命やったら後は神様にお任せ。でええんや。大変長い経験を見せて頂きました。その後、直会の準備がされる間、皆様には境内で深まりゆく播州の晩秋を楽しんで頂きました。大阪本部副部長様の乾杯の発声で始まった直会ですが、この状況下で様々な役員で語り、注し注されつはやめようという話と聞いていた直会風景でした。高濱総代作成のクイズを亀田佳男理事が進行し、子供は賑やかに、和気藹々と恒例の福引では、前日、

不可欠で、且つ公的なものであったということがうかがえます。この度のコロナ禍で、日本では経済的なダメージはご守護であることは申し上げるまでもなく、諸外国の様話の様な、古代から伝わる神道を中心とした習慣が生み出した結果であると云えるのではないのでしょうか。いかと存じます。皇室を大切に思う気持ち、生涯持ち続けた歴史上の人物の一人に、楠木正成という方が居られます。兵庫県神戸市に鎮座する湊川神社の御祭神が、楠木正成公でございます。お生まれは現在の大阪府千早赤阪村で、武士として生涯を通して後醍醐天皇に仕え、お支えされた忠君の人物です。戦前の歴史教育では、正に英雄として学んでおりましたが、戦後教育では教えることがなくなってしまう。その歴史教育を変えてしまつたのはGHQであり、戦後日本の力を弱める為の政策の一つだったのです。では何故、楠木正成公の教育が除外されてしまったのでしょうか。正成公とはどのような方だったのかと申しますと、とにかく、天皇家に忠義を尽

に戦乱が起き、その中であつて、天皇を最後まで支えられたのが、楠木正成という人物なのです。時を経て、幕末から明治維新にかけて、正成公の御神霊を奉斎したい、という国民運動が盛んになります。そして明治元年、明治天皇は正成公の忠義を後世に伝える為、神社を創建するようお命じになり、四年後の明治五年、その生涯を閉じられた地、神戸に湊川神社が創建されたのです。楠木正成公の素晴らしい点は、唯々天皇にお仕えするだけでなく、一度も天皇を裏切ることもなければ、誤つたご判断をされても、決して悪く言うことはなかつた。それ程、皇室に忠義を尽くされたのです。そして、正成公のように皇室をいつも大切に思い、皇室の繁栄を祈る姿勢こそが、日本人の基本なのではないかと存じます。

教祖祭 (11月9日)

養老教会 コロナ対策も施し 秋之例大祭 厳粛に挙行



養老教会長様

肌に触れる風も冷たくなくなり、晩秋の気配が感じられるようになった十月二十五日、養老教会秋之例大祭が執り行われました。支部信徒の皆様により前々日のお米洗い、前日、当日とご奉仕いただき、大阪より本部長様御夫妻、副本部長様御夫妻、企画部長訓啓様、西播支部教母様、本部総代様名古屋敬和会並びに本部支部の多数の信徒の皆様をお迎え致しました。世間では少しづつ動き出したとはいえ、まだまだ新型コロナウイルスの影響から身動きがとりにくい環境の中、当教会においてこの度はほぼ従来通りの大祭としてご奉仕致しました。感染予防対策として体温計測とアルコール消毒が同時に行える機器を玄関にご喜納頂きました。

祭典は予定通り十時三十分より開式され、修祓により祓い清め、献饌・奉幣と続き父教会長の大祭祝詞では日頃の御神恩に加えて、新型コロナウイルスからも御守りいただいていることにも感謝申し上げられ、御陰により今日の大祭を盛大に執行出来る喜びを奏上。続いて本部長様のお祝いの幣帛祝詞、あらたかな御神意と御神徳へ感謝申し上げられ、更なる教勢拡充、支部教会の発展を御祈念頂きました。また、この度奉納された舞楽は「岩戸開き」。出口が見えない悪しき病をいち早く消し去り、明るい未来が開けるようにと長女美貴、従姉妹の利佳さんが優雅に奉舞してくれました。祭典後の教会長の挨拶では、春の大祭には流行し始めたウィルスの影響を考えた祭典様式となりつつも、無事に執行させて頂いたことを報告され、当教会では御神水を頂くことで健康に過ごすことが出来る。この大神様の御神威は教信徒だけでなく、頼ってこられた方全ての方に授けてくだ



清々しく奉納神楽「岩戸開き」

くされた方でした。当時、鎌倉幕府の力が弱まり、世の中が乱れつつある中、後醍醐天皇はやはりさる、せつかく始めた信仰をどうぞ永く出来るよう励みましようと呼びました。本部長様の御教話では、先日の出張の折に養老教会のある信徒の方が婚約されたことをお聞きになり、今日はその夫婦になられるお二人でご奉仕にみえている、誠に尊いこととご紹介頂きました。また、教会を含め全国の神社に手水舎を設置せよと申され、そこから食事の前には手を洗う習慣がついたようです。私達は恵まれたことに、日本人に生

皇室が政治を執らないといけないということで、京都で朝廷を起こされます。この様な背景の中で様々なことがあつたりしないようにと工夫致しました。正に、全集中 實生の呼吸 宴の型。楽しい時間はあつという間に過ぎていき、福当りでは御供にと頂いた海の幸・山の幸に、飛騨牛、真心のこもった手作りの品々が参拝者全員に当たりました。締めは西播教会教母様の萬歳三唱の御発声、ウィルスを吹き飛ばす勢いの一日となり、また春の大祭でお会い出来ますように、世の中が早く元のように安心して楽しく過ごせる日々に戻りますようにと願いつつ、皆様をお見送り致しました。最後にまだまだお出しにくい中、お越しいただきありがとうございます。養老副教会長夫人 古川奈央

心を鍛錬して美しく 月並祭 (11月15日) 我々人間は、時には心の弱い生き物でもありませんから、思い通りにならないことや気に食わないことがあると、つい不平不満が出たり、他人にとげとげしい言葉を向けたります。どんなに経験のあることでも、ないでしょうか。しかし、その様な姿は、あまり美しい姿ではありません。日本人の本質は、美しさを求めるのではないのでしょうか。それは見た目という

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より